

知っている、ちょっと幸せになれる

Delta Tips

NMDT_0050

表示の関連付け機能 (2D)

NMR data processing software

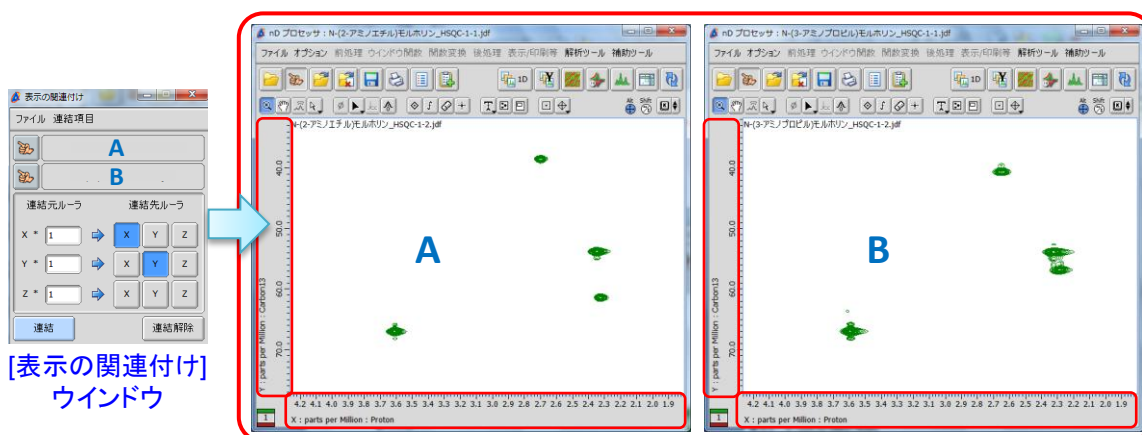
Delta
NMR Software

v5.0



nDプロセッサデータの表示領域を関連付けて共有することができます。
各々のデータを同じ表示領域で比較しながら、データ処理を行うことが可能です。

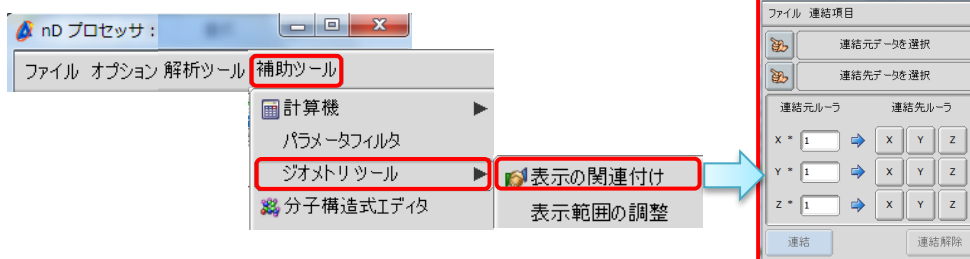
★ 1Dプロセッサでの表示の関連付け機能についてはDelta Tips NMDT_0049をご参照ください。



表示領域を共有したA(^1H - ^{13}C HSQC) とB(^1H - ^{13}C HSQC) のデータ
同じX軸(^1H)Y軸(^{13}C)領域で比較できる

① [補助ツール]メニューの[ジオメトリツール] - [表示の関連付け]を選択する。

⇒[表示の関連付け] ウィンドウが開きます。

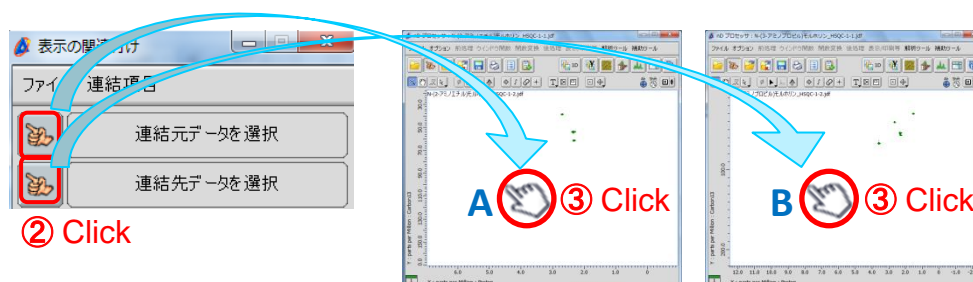


② [表示の関連付け] ウィンドウの [Finger]ボタンを押す。

⇒カーソルの形が [指マーク]アイコンに変わります。

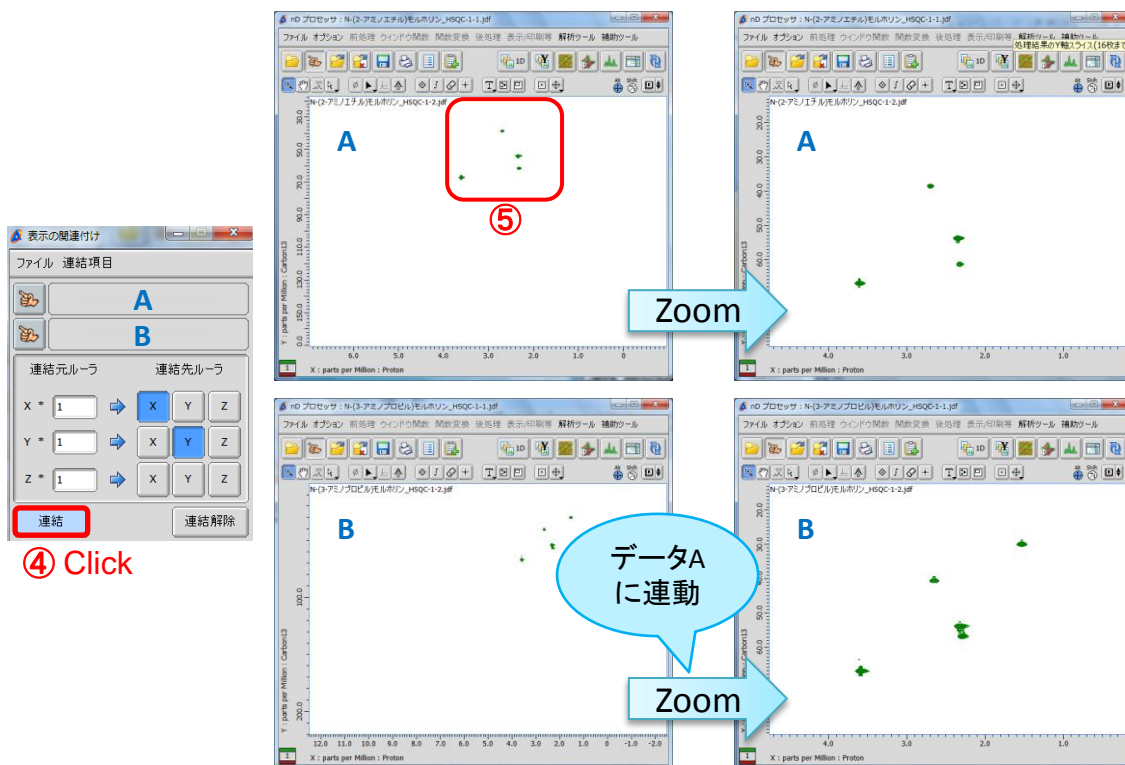
③ [指マーク]アイコンで関連付けたいスペクトルデータをクリックする。

⇒クリックしたデータが連結対象として選択されます。





- ④ **連結** [連結]ボタンを押し、⑤ データAを任意の表示領域に変更する。(データA上の赤枠部分)
⇒データAの表示領域(X軸: ^1H , Y軸: ^{13}C)に連動して、データBの表示領域が自動的に調整されます。



AとBの2DデータをX軸 ^1H 0.2~4.7 ppm、Y軸 ^{13}C 12~86 ppmで同時に拡大表示

- ★ 連結を解除したい場合は **連結解除** [連結解除]ボタンを押してください。
- ★ nDプロセッサ上のデータだけでなく、2Dビューワ、データスレート上のデータとの関連付けも可能です。また、2Dビューワどうしの関連付けも可能です。